

2016年度（平成28年度） にこてらす 事業報告（案）

就労継続支援 B 型事業

本年度、利用者は1名増え11名となりました。平成28年になり就労継続支援 B 型事業への問い合わせが増えてはおりますが、サービス内容（作業品目）等で躊躇され利用までには繋がらない方が多くおられます。

本年度も就労支援の作業品目は農作業を中心に事業展開をしてまいりました。

利用者は一年一年、年齢を重ねております。目に見えて体力が落ちている方はいないものの、疲れを見せる場面は見られるようになりました。そのような中、様々な技術を習得する方が多く、作業速度や作業精度は確実に向上しております。そのため一人一人が役割を持ち、必要とされることで作業に対して責任をもてる。そんな良い循環になっているように思えます。

夏季を中心したアスパラガスの収穫では、販路の安定化をはかるため大変お世話になっているなかやま牧場、ハート店様へ出荷させていただくことができました。売り上げは大きく向上することができました。

その就労支援の売り上げに関しては数値や目標を利用者に伝え、一人でも多くの利用者とそれを共有することで作業意欲に繋げることができました。

ですが、その利用者の姿勢に工賃としては十分に還元できていないのも事実です。これらの実情を踏まえながら一人一人が大切にされる取り組みをこれからも続けていきます。

1, 就労支援事業について

(1)就労支援作業品目

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ア 牛ふん堆肥の袋詰め | なかやま牧場様、下請け作業 |
| イ 畑作業 | アスパラガス、玉ねぎ、大蒜栽培、水稻 |
| ウ 清掃 | 企業内の清掃作業 |
| エ 委託作業 | 農作業の請負（大蒜の植え付け、白大豆の収穫等） |

就労支援の売り上げ向上を目的に、農作業の請負を始めました。笠岡干拓まで出向き大規模農家から農作業の一部を委託されております。

(2)就労支援事業収入

	就労支援収入	増減比率
2016年（H28年度）	9,186,814 円	7.8%
2015年（H27年度）	8,517,974 円	26.8%
2014年（H26年度）	6,714,811 円	6.3%

アスパラガスの販売を店舗にて出荷することができるようになったため安定した売り上げが確保できました。結果、売り上げの増額に繋がっております。

(3)利用者工賃について

年 度	工賃総支給額	増減比率	一人あたり月額
2016年 (H28年度)	4,310,016円	5.3%増	35,041円
2015年 (H27年度)	3,991,932円	13.4%減	33,266円
2014年 (H26年度)	4,527,349円	5.9%増	34,050円

支給総額は前年度と比較して大幅に増額となりました。利用者は1名増えましたが前年度と比較して利用者一人あたり月額1,700円強の増額をすることができました。

2. 利用者の状況について

(1)定員

①利用者定員 10名

平成28年4月1日時点 11名 (男10名 女1名)

平成29年3月31日時点 11名 (男10名 女1名)

②入所 平成28年4月1日 男性65歳 就労継続支援A型より

平成29年3月21日 男性18歳 岡山県より移住

退所 平成28年5月31日 男性44歳 生活介護事業へ

(2)開所日数 265日/年 (27年度266日)

利用率 98.4% (27年度96.5%)

延べ利用日数 2,660日 (27年度2,660日)

利用者の利用率は98.4%であった。昨年度より利用率は2%伸びた。

利用者の長期休み等がなくコンスタントに出勤をしていただけたため。

3. 運営の状況

(1)自立支援費等収入

年 度	訓練等給付費収入	増減比率	利用数
2016年 (H28年度)	21,665,270円	微増	10.16名
2015年 (H27年度)	21,506,400円	▼12%	10名
2014年 (H26年度)	24,104,030円	16.1%	11名

※前年度と比較して微増。約16万円の増収。

(2)本年度取得した加算及び報酬単価の一覧

サービス名		報酬単価	人数	取得年月日
①	就労継続支援B型サービス費(Ⅰ)	5,840円	10人	
②	食事提供加算	300円		
③	送迎加算(Ⅱ)	130円		2015.4.1
④	福祉専門職員配置加算(Ⅲ)	60円		2013.4.1
⑤	目標工賃達成指導員配置加算	890円		2013.4.1

⑥	施設外就労加算	1,000 円	7 人	
	福祉・介護職員処遇改善（Ⅰ） ①～⑥の合算×0.038%		10 人	

(3)職員の状況 平成 29 年 3 月末

職 名	職員数	備 考	国 基 準
管理者	1 名	サービス管理責任者兼務	1 以上
サービス管理責任者	1 名	管理者 兼務	1 名以上
職業指導員	2 名	常勤職員 2 名	2.26 名以上
生活支援員	1 名	契約職員 1 名	
調理員	1 名	契約職員 1 名	1 以上
目標工賃達成指導員	1 名	常勤職員	1 名以上
合 計	7 名	※兼務重複	

生活介護事業

平成 27 年度から自閉傾向と行動障害がある利用者へ適切な支援を提供するための建物（以下、2 号館という）の運用を開始して 2 年が経過しました。

行動障害を抱えた方々の支援は本人の状態や、活動が増えている様子をみるかぎり、その人にあった支援に近づきつつあると思います。

その支援方法は、他の利用者の支援にも活かされています。例えば、今までは特に課題がないと思われていた利用者に対しては、口頭指示を中心とした支援が中心でした。それを視覚に訴える支援を増やすことで、次第にその作業や行事に対して指示待ちの姿勢から、自らがその準備をすることや職員へ必要なもの、事柄を訴えてくる方が増えてきました。

このことから私たち職員は表面的な状態に、支援の方法を大きく左右されていた反省と同時に利用者への支援がその人にあったものであればあるほど個々の自立した活動が増えていく手ごたえを感じることができました。

まだまだ、一人一人に適した支援が十分とは言えないまでも適切な支援が常時、提供できるようこれからも取り組んでいきたいと考えています。

2. 利用者の状況について

(1)利用者定員について

利用者定員 10 名

利用者現員 平成 28 年 4 月 1 日時点 11 名（男 9 名 女 3 名）

平成 29 年 3 月 31 日時点 12 名（男 9 名 女 3 名）

(2)入所、退所の状況

入所 1 名 平成 28 年 6 月 1 日 男性（就労継続支援 B 型より）

(3)障害支援区分 平成 29 年 3 月末

障害支援区分 6	障害支援区分 5	障害支援区分 4	障害支援区分 3
4 人	4 人	4 人	0 人

障害支援区分の平均 5.0 (平成 27 年度 平均 5.18)

(4)開所日数	264 日/年	(27 年度 263 日)
出席率	97.3%	(27 年度 97.5%)
延べ利用日数	3,040 日	(27 年度 2,968 日)

今年度は平成 28 年 6 月に 1 名、新規利用者が通所を開始され延べ利用日数約 70 日分増えています。利用率については若干の減少ではありますが、前年同様の数値となっています。

3. 運営の状況

(1)自立支援費等収入

年 度	訓練等給付費収入	増減比率	利用者数
2016 年 (H28 年度)	41,628,610 円	2.3%	11.83 名
2015 年 (H27 年度)	40,686,010 円	32%	11.5 名
2014 年 (H26 年度)	30,811,180 円	23.4%	10 名

※増額の要因として

- ・前年度より 2.3%の増額。利用者数が増え、延べ利用日数が増えたため。

(2)報酬単価の一覧

サービス名		報酬単価	対象人数	取得年月日
①	生活介護サービス費 区分 6	12,780 円	11 人	
	生活介護サービス費 区分 5	9,590 円		
	生活介護サービス費 区分 4	6,800 円		
	生活介護サービス費 区分 3	6,100 円		
②	食事提供加算	300 円		
③	人員配置体制加算 (I)	2,650 円		2015.4.1
④	福祉専門職員配置等加算 (II)	60 円		2013.4.1
⑤	送迎加算(II)	130 円	主に 5 人	2014.7.1
	福祉・介護職員処遇改善 (I)	①～⑤× 0.031%		

(3)職員の状況

職 名	職員数	備 考	国 基準
管理者	1 名	サービス管理責任者兼務	1 以上
サービス管理責任者	1 名	管理者兼務	1 名以上
生活支援員	8 名	常勤職員 4 名 契約職員 4 名	6.7 名以上
看護師	1 名	契約職員	

送迎職員	1名	契約職員	1以上
調理員 兼務	1名	契約職員	1以上
合 計	13名	※兼務重複	

※職員数の増減は無し。

1, 就労支援事業について

(1) 就労支援作業品目について

- ア 牛ふん堆肥の袋詰め なかやま牧場様、下請け作業
- イ 配達(牛ふん堆肥の個人売り) 堆肥の配送
- ウ 資源回収 廃品等資源の回収
- エ さをり織り さをり織り作業
- オ 加工品 手作り味噌及びドレッシングの製造
- カ 洗濯 作業にて使用する作業着の洗濯
- キ 委託作業 農作業の請負 (大蒜の植え付け、白大豆の収穫等)

(2) 就労支援事業収入

年 度	就労支援収入	増減比率
2016年 (H28年度)	4,891,477 円	△2.5%
2015年 (H27年度)	5,013,336 円	0.9%
2014年 (H26年度)	4,968,279 円	△4.7%

(3) 利用者工賃について

年 度	工賃総支給額	増減比率	一人あたり月額
2016年 (H28年度)	2,742,872 円	△1%	19,324 円
2015年 (H27年度)	2,762,379 円	25.9%	20,927 円
2014年 (H26年度)	2,193,005 円	△2.4%	18,275 円

工賃総支給総額は前年度と大きな違いはないが、利用者が年度途中で1名増えたため一人当たりの月額は約1,600円減額となった。

(4) 作業以外の活動について

作業以外にも毎週水曜日を使い様々な活動に取り組んでいます。

◎ルクーユ展に向けた創作活動の実施。情景を描くことが好きな方、文字を細かく記入される方、表現方法は様々です。展示後は2号館2階をの空部屋を利用してその作品の展示をしております。

◎ハンドベルへの取り組み

12月10日(土) 音楽家 デュオ三木様と神辺文化会館にて共演をさせていただきました。大勢の観客の前での演奏は大変、緊張感するようですが、利用者に演奏の感想を聞くと必ず「またやりたい。ステージに立ちたい」との意見が多数を占めています。

◎行事等への参加

自閉傾向や知的障害を持つ方々には言語が十分理解できない方や、その障がいの特性として次の活動や予定など障がいの見通しの持ちづらい人がおられます。

その方々へ絵カードや写真、文章など利用者の理解が深まる提示方法で予定を伝え、行事への参加が増えると同時に楽しんでいる様子がみられるようになりました。

共通事項について (就労継続支援B型・生活介護)

1, 利用者支援について

作業や日中活動へ見通しを持って活動していただけるよう個々に状況に応じて個別の情報提供を行った。

特に行事や初めて体験する作業等に使用した。

例) A3サイズのホワイトボードを活用して ①本日の活動 ②場所 ③移動に使用する車両 ④同行する職員の写真の提示。
場所(風景)や作業内容の写真を提示。

2, 作業中の支援について

利用者一人一人に役割を持っていただけるよう利用者の状況に応じて役割を設定した。役割の設定については利用者毎の支援計画に位置付けて取り組みを行った。

例) 機械の使用について写真にて提示。→利用者との一対一で使用方法の指導を実施。→使用中の見守り→作業後の評価。を一連の取り組みとして位置づけ、技術を習得するまで支援した。

2, 健康管理の業務

(1) 協力医療機関

協力医院 よしたかクリニック

(2) 健康診断の実施

歯科検診 7月27日

健康診断 11月9日

(視力・聴力・血液・心電図・レントゲン、尿検査)

(3) 血圧及び検温の実施

毎朝、測定

生活習慣病に罹患されておられる方もおられ、毎日の計測結果を用いて家庭との連携を図った。

(4) 感染症対策

インフルエンザ流行時期には(1月～3月) 手洗い、消毒・うがいの励行。

3, 昼食の提供の実施

1食あたり250円で提供。全利用者とも昼食の提供を実施

4, 防災訓練の実施

11月 避難・誘導・通報訓練

2月 //

5, 職員の質の向上について

- (1) 外部研修への参加 旭川荘療育アカデミー
障害者総合課程の受講等 5月～11月毎週(土)
- (2) 法人内勉強会への参加
毎月1回開催
- (3) 法人内事業所間実習
共同生活ほいーるへ 10月 1週間
にここにこ会へ 11月 1週間

6, 危機管理

(1) 事故報告について

日時 平成28年5月2日

作業終了後、作業用車両で施設まで移動。利用者が降車される際に車両の降り口に積んであった荷物に足がひっかかり膝をついて転倒。外傷を負った。外科にて受診、治療を行った。

(2) 苦情について

日時 平成28年8月23日

公用車の運転方法について地域住民より匿名で苦情がある。スピードの出しすぎと、一旦停止の不十分の指摘があった。

全職員に注意喚起を行った。